



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和7年 7月号

〒364-0032

北本市緑3丁目387番地

TEL 048-591-4709

FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校「かしこく げんきな 南っ子」**

梅雨×猛暑＝異常気象→「雨具」の活用と管理

校長 酒井 一昭

近年の梅雨と猛暑については、気を付けなければなりません。梅雨の時期は、豪雨災害が起こりやすい時期です。毎年のように集中豪雨をもたらし、河川の氾濫や浸水、土砂災害などを引き起こしています。また梅雨の豪雨はほかの時期の豪雨に比べて予想が難しく、同じ場所で降り続くなど長期化しやすいのも特徴です。梅雨の豪雨には、ほかの豪雨と違った怖さがあります。

猛暑になると、日本各地で「これまで経験したことのないような集中豪雨」が発生したり、最高気温の新記録が更新されるなどの現象が起きたりしています。夕方近くになると、雷雲が突如現れ、数十分間にわたり雷が鳴り響き、豪雨とともに突風にも見舞われることがあり、大変な思いをされた方もいらっしゃるのではと思います。「異常気象」という言葉が当たり前に使われています。

本校では、危険な状況であることが予想される場合は、時間をずらした登下校で児童の安全の確保をしています。昨年も下校時刻に怪しい雲行きが見られたことから、学校に留め置く措置を行いました。本年も児童の安全を最優先に考え、対処してまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

また、雨具の活用と管理を積極的に行っていただけると助かります。安全を考えると「長靴」の利用は効果的です。雨の中でも足元がしっかりと安心して歩行することができます。普段の運動靴で豪雨の中を歩くと、足元がびしょびしょで寂しい気持ちにさせられるだけでなく、さらに歩きづらくなります。

「傘」については、各家庭で再度点検をしていただけると助かります。傘生地を支える骨の部分が折れている傘がいくつか見受けられます。頑丈なシャフト（中樑）自体が折れていたり抜けてしまうものもあります。修理するか新しい傘を用意していただければ子どもたちも助かります。

「異常気象」が当たり前の時代となった今、先手を打って自己防衛をすることをご検討ください。

「人は人によって磨かれる」

「人は人によって磨かれる」という言葉があります。私たちは、人と人との関わりの中で互いに影響を受け合いながら自分を磨くことで成長していきます。自分一人ではできないことも、仲間と学び合い、励まし合って取り組むことにより、できるようになっていきます。

子どもたちは集団で生活する中では、互いに我慢しなければならないこともあります。例えば、20分休みや昼休みでの外遊び、学級レクやふれあいタイムなどでみんなと遊ぶときに、様々な意見の中から何をして遊ぶのかを決めなければなりません。また、誰もがその遊びをやりたいとは限りません。ある意味、みんなで遊ぶことは、意外に難しいことかもしれません。

自分のためだけでなく、みんなのために力を合わせて頑張ることで、一人では味わえなかった充実感や所属感の喜びを味わうことができます。また、他者のことを考えて行動する仲間意識も育まれていきます。

家庭や地域の方々との関わりも、子どもたちに大切なものを与えてくれます。自分が大切にされていることによる他者への信頼感、守られていることによる安心感や自己肯定感などは、子どもたちにとって未来を拓く、そして社会をたくましく生きていくための大きな柱となるものです。

南小学校の子どもたちは、たくさんの人との関わりによってさまざまな角度から磨き合い、磨かれ合い、どんどん成長しています。南小学校で生活するこの時期に、どんな人に出会い、どんな経験をするのかは、とても大事なことです。もちろん、大人も同じです。私自身、南小の子どもたちと様々な形で関わってきたいという思いがより一層深まるこの1学期でした。

今後も、すべての教育活動を通じて、子どもたちに多様な「人」と対話する機会を多くし、協働する力を育ててまいります。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

